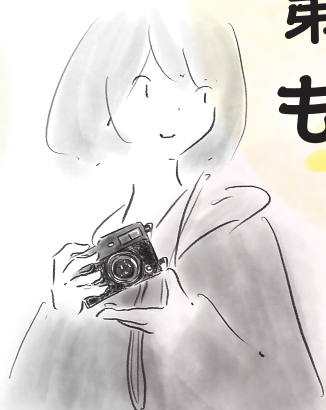


第3回 もろやま観光フォトグランプリ 結果発表



毛呂山町観光協会主催による「第3回もろやま観光フォトグランプリ」が実施され、応募期間の令和3年11月26日から令和4年1月11日にかけて、町内外から50点もの応募がありました。そのなかで厳正な審査の結果、見事に賞を獲得した作品を紹介します。なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今年も受賞作品の展示は行いませんが、毛呂山町観光協会のホームページで公開を行っています。

問合せ 一般社団法人 毛呂山町観光協会 ☎250-8143



グランプリ

『花吹雪』

撮影者 田中 志次さん

■グランプリ受賞者のコメント

雪が降れば鎌北湖、桜が咲けば鎌北湖へと何年も通っています。水のない鎌北湖でしたが、運よく風が吹いて桜吹雪を撮ることができましたが、まさか自分が『グランプリ』を頂けるとは思ってもいませんでした。大変嬉しい限りです。ありがとうございました。



～審査員講評～

毛呂山町の観光や撮影スポットでもある鎌北湖の咲き誇った桜の花びらが風に舞うダイナミックな情景を見事に切り取り作品にされています。シャッタースピードの選び方もベストだと思います。

耐震工事の期間中には湖の水が全部抜かれ、このときにしか撮れない鎌北湖の桜の貴重な作品になりました。コロナが収まっていつものようなお花見を楽しみたいものですね。

📷 まつり・イベントの部



観光協会長賞

『ゆずせいぞろい』

撮影者 中川 弘子さん

～審査員講評～

ゆずまつりの会場で、箱詰めされたゆずを選んでいる女性が「これがいいかな」って言っている声が聞こえてくるようです。そのチャンスをうまく捉え^{とら}えています。奥行きを感じさせるようなフレーミングも素晴らしく、会場の様子もよく伝わる作品になっています。

優秀賞

『田植え体験がんばろう！』

撮影者 おおやぎ 大谷木 春男さん

～審査員講評～

一列に並んだ子どもたちの姿が田んぼに写り込むのを撮影するためのカメラポジション。「ガンバロー」と手を挙げた瞬間のシャッターチャンス。フレーミングとも秀逸です。



特選

『バラのトンネル』

撮影者 池田 義和さん

～審査員講評～

アーチ状のバラのトンネルが見事ですね。バラを見に来られた人を入れたので、アーチの大きさや奥行きなどもうまく表現できています。

笑顔・ふれあいの部



観光協会長賞

『祝1歳！ はじめてのケーキ、最高！』

撮影者 misaさん

～審査員講評～

とてもうれしそうに満足げな表情を画面いっぱいうまく撮られました。まさに誕生日のケーキを頬ばって食べた後、口についたクリーム、クリームのついた右手もかわいらしさが見えます。壁に掛けられたマスクや消毒用のスプレーなどもコロナ時代の作品としてさりげなく入れているところは見事です。

優秀賞

『スウィートタイム』

まさのり
撮影者 藤原 正宜さん

～審査員講評～

二人だけの内緒の場所でしょうか、仲のよい男の子と女の子が楽しく語りあっているストーリーを感じる作品になっています。バラに包まれているような構図も良かったと思います。



特選

『いい香りだよ！』

ふにゅう
撮影者 船生 利雄さん

～審査員講評～

何といっても男性の笑顔がいいですね。はしごの上の方に登ってゆずを採っているのが豊作で、出来もよかったのでしょう。いい香りが漂ってくるようにも感じられる作品です。



風景・自然の部

観光協会長賞

『我が家のキャンプライフ』

撮影者 たいりょさん

～審査員講評～

コロナ禍でも、清々しく家族と過ごされた感じがよく表現されています。家族の表情やペットの犬、車、青空の下でのキャンプはとても楽しかったことでしょう。和気あいあいの雰囲気が伝わってくる作品になっています。

優秀賞

『雨のバラ園』

撮影者 中庭 妙子さん

～審査員講評～

雨の日だからこそ撮れる景色ですね。霞んだ背景でバラのアーチがより映え、傘をさした2人もいいアクセントになっています。広大なバラ園に行ってみたいと思いました。



特選

『収穫』

撮影者 渡部 毅さん

～審査員講評～

画面いっぱいに稲束を入れたことで、豊作だったことがわかります。ご夫婦でしょうか、仲良くそれぞれの持ち分を手際よく作業されている様子が上手く表現されていると思います。

